

研究者：竹内 研時（所属：九州大学大学院歯学研究院 口腔予防医学分野）

研究題目：かかりつけ歯科医の性別による患者の歯科保健行動の違いの検討

目的：

平成 26 年医師・歯科医師・薬剤師調査では、歯科医師総数に占める女性の割合は 22.5%と約 4 人に 1 人が女性であり、その割合は年々増加している。しかし、歯科医師の性別が患者の歯科保健行動に及ぼす影響については未だ明らかにされていない。本研究はかかりつけ歯科医を持つ者を対象に、かかりつけ歯科医の性別によって患者の歯科保健行動の選択が異なるかを検証した。

対象および方法：

本研究は 2017 年 1 月から 2 月に静岡県内の農山部地域である A 町にて、年代別無作為抽出された 20～69 歳の 1,500 名を対象に、郵送法による無記名自記式質問紙調査を実施した。対象者の歯科保健行動は、歯科健診の定期受診やデンタルフロスや歯間ブラシなどの口腔清掃補助用具の使用有無にて評価を行い、アウトカムとした。かかりつけ歯科医の性別を曝露変数とし、対象者の性別や年齢、Body Mass Index (BMI)、婚姻状態、世帯所得、最終学歴、高血圧・糖尿病・脂質異常症の各既往歴、歯数は調整変数とした。解析にはロジスティック回帰分析を用いた。

結果および考察：

637 名から回答を得て（回収率 42.4%）、かかりつけ歯科医を持つ者は 401 名（63.0%）であった。その内、上記変数に不備がない 354 名（男性 145 名、女性 209 名）を解析に含めた（図 1）。かかりつけ歯科医の性別は男性 314 名（88.7%）、女性 40 名（11.3%）であった（表 1）。上記の変数を同時投入した多変量解析の結果、かかりつけ歯科医が女性の場合、男性の場合と比べて、歯科健診を毎年受診する割合は 2.2 倍（95%信頼区間 1.09–4.55）有意に高く、さらに口腔清掃補助用具を使用する割合も 2.6 倍（95%信頼区間 1.03–6.71）有意に高かった（表 2）。以上より、かかりつけ歯科医の性別は患者の歯科保健行動と有意に関わり、女性歯科医師がかかりつけ歯科医であることは患者の歯科保健行動の選択を良い方向に導く可能性が示唆された。

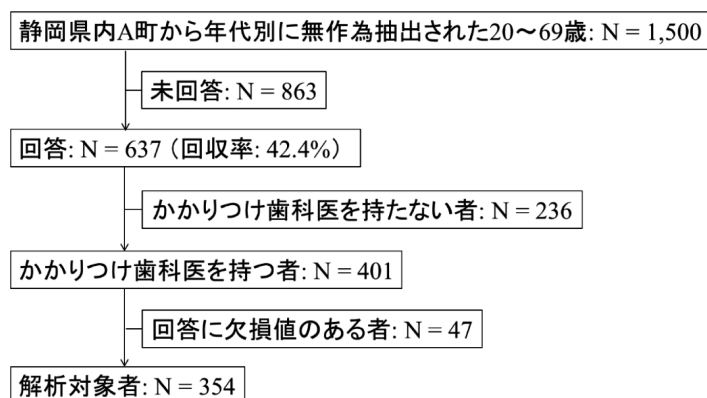


図 1 解析対象者の選定

表1. かかりつけ歯科医の性別で見た患者の特性の比較

患者の特性	かかりつけ歯科医の性別	
	男性 (N = 314)	女性 (N = 40)
女性、%	58.3	65.0
年齢	54.5 (21.0-69.0)	53.0 (23.0-67.0)
婚姻状態、%		
既婚	73.9	82.5
死別 / 離別	10.2	5.0
未婚	15.9	12.5
教育歴 10 年未満、%	51.6	42.5
年間所得、%		
400 万円未満	24.2	17.5
400-599 万円	29.9	30.0
600-799 万円	17.5	25.0
> 800 万円以上	28.4	27.5
BMI	22.7 (16.8-40.0)	22.4 (15.2-38.0)
糖尿病、%	5.1	10.0
高血圧、%	23.9	20.0
脂質異常症、%	13.7	15.0
歯数、%		
10 本未満	5.1	5.0
10-19 本	15.3	15.0
20 本以上	79.6	80.0
毎年の歯科定期健診、%	39.5	60.0
口腔清掃補助用具使用、%	68.2	85.0

表2. 多変量ロジスティック回帰分析によるかかりつけ歯科医の性別と患者の歯科保健行動の関連

患者の歯科保健行動	かかりつけ歯科医の性別		P 値
	男性 (N = 314)	女性 (N = 40)	
毎年の歯科定期健診			
粗オッズ比 (95%信頼区間)	1.00 (reference)	2.30 (1.17-4.50)	0.015
調整オッズ比 (95%信頼区間)*	1.00 (reference)	2.23 (1.09-4.55)	0.028
口腔清掃補助用具使用			
粗オッズ比 (95%信頼区間)	1.00 (reference)	2.65 (1.08-6.51)	0.034
調整オッズ比 (95%信頼区間)*	1.00 (reference)	2.62 (1.03-6.71)	0.044

*患者の性別、年齢、BMI、婚姻状態、学歴、所得、高血圧・糖尿病・脂質異常症の各既往歴、歯数を調整

成果発表：(予定を含めて口頭発表、学術雑誌など)

学会発表 (和文)

- ・竹内研時、野口有紀、山下喜久。かかりつけ歯科医の性別による患者の歯科保健行動の違い。
第 67 回日本口腔衛生学会総会、2018 年 5 月 20 日、北海道。

原著論文 (英文)

- ・ Takeuchi K, Noguchi Y, Nakai Y, Ojima T, Yamashita Y. (2019): Dentist gender-related differences in patients' oral health behaviour. J Oral Sci. (in press).